

シティライフ

市原版

配布地域/市原市・袖ヶ浦市【75,000部】

https://www.cl-shop.com

企画・制作/シティライフ編集部 〒290-0056 市原市五井4874-1
TEL.0436 (21) 9311 FAX.0436 (21) 9142

シティライフが提供する動画をWEBで見れます!



左記のアイコンがある記事はシティライフWEBより関連動画をご覧いただけます!

ものづくりフェスタ

小学生が製造の楽しさを体験

パスカルの原理（化学の力）を利用したおもちゃを作ったり、スライムづくりに興じたり。8月17日、小学生を対象にヨロホール（市原市勤労会館・更級）で「ものづくりフェスタ」が開催された。「金属探知機を作ってみよう」「ノーベル賞LEDを使って光のマジカル実験！」「浮沈子（ふちんし）をつくろう！」「2つのスライムをつくろう！」「いろいろな繊維の力を体験しよう！」「エコーで見えない絵を当ててみよう！」「マイペットボトルを作ってみよう！」「お話し：市原市の企業と私たちの生活」「木更津高専ロボット機登場！」と多彩なプログラムに、夏休み中の子どもたちが夢中になった。

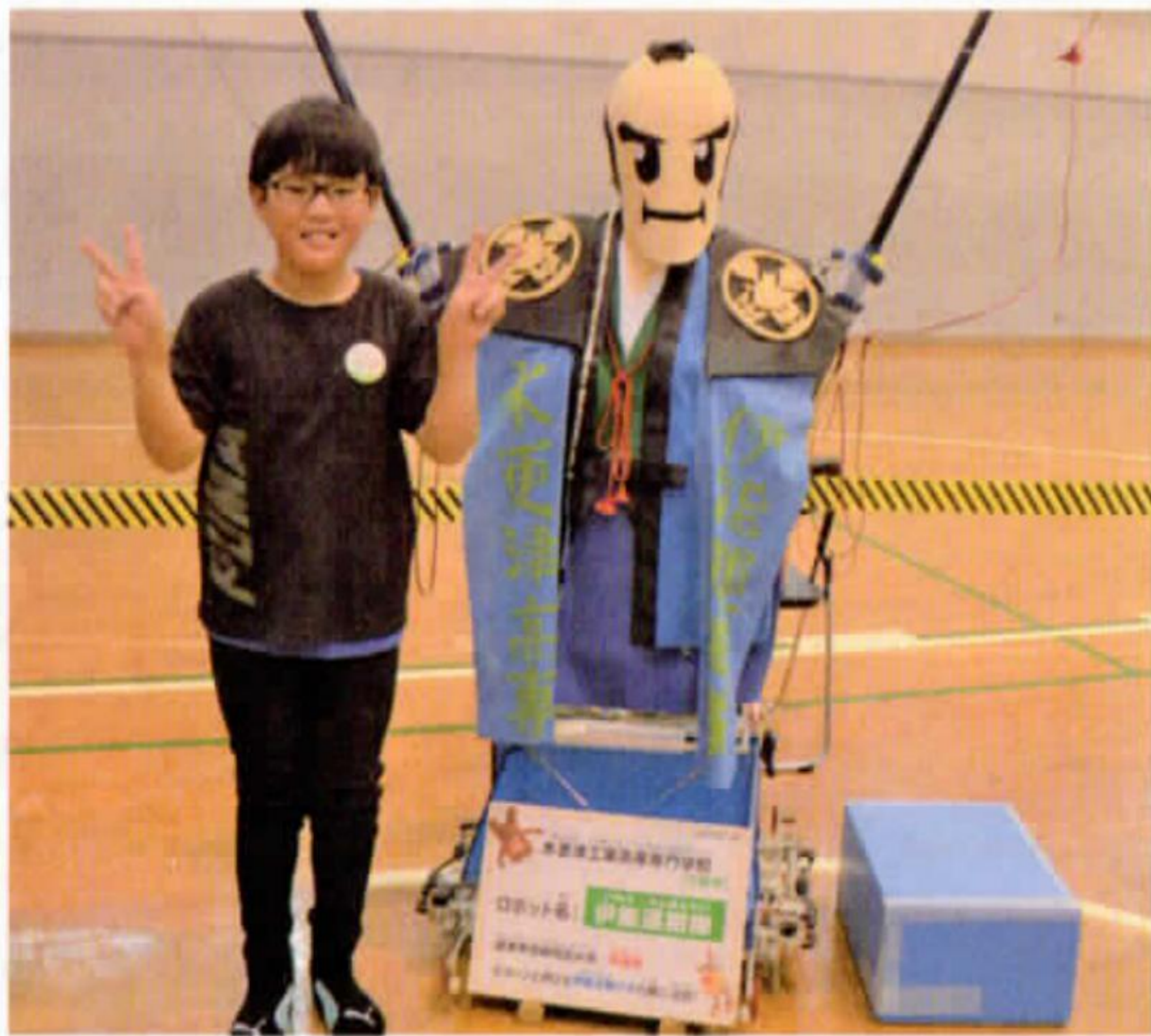
『自分で作る』から面白い

LED発光・操作パネルを作り、魔法のように変わる色の調査を楽しんだ小学4年生の平沢くんは「初めて参加しました。僕が1番やりたかったことができました。自分で作った感」があった。子どもたちが夢中になった。



「いろいろな繊維の力を体験しよう！」のコーナーで、繊維の力を体験中の小学生

本格的なものづくりを、木更津工業高等専門学校で学ぶ先生と生徒さんが、きめ細かに教えてくれて、でも部品を組み立てて作るの自分自身で、というところがとてもいいです。自分が作った！自分の作品ができた！という達成感が得られて息子は「母親の理恵さんは「ポットから完成品が出てくる」ところで、子どもたちが目をまん丸にして驚いているいい写真が撮れました」とこり。兄の玖（いづく）くんも弟の凜久（りんく）くんは、夏休みの自由研究ができたこと、楽しんで良かったことを、完成品を嬉しそうに眺め



NHK高専ロボット全国大会出場の木更津高専ロボットと記念撮影

ながら話していた。色水を透明に変える繊維の力を体験するコーナーでは、実験に使われたオレンジジュースの賞味期限の話など講師のトークも面白く、説明中も実験中も子どもたちは楽しそうだった。正解の数によってプレゼントがもらえるエコーの体験コーナーでは、鉄板に隠

製造業の未来のために連携

今回の各催しは、木更津工業高等専門学校、ちばテクノ（県立市原市原高等技術専門学校）、デンカ株式会社千葉工場、市原市臨海部工場連絡会姉崎・千種支部、特定非営



喜ぶ子どもたちを見て、自分たちも楽しそうだった市の職員

利活動法人NPOテクノサポートなど、ものづくり産業に係る各団体と市の連携で実現した。「お話し：市原市の企業と私たちの生活」では、千葉市科学館で活動中の室谷定一さんによる講演が行われた。全国に800近くある『市』の中で、市原市の、ものづくりの生産額が豊田市、横浜市、川崎市に次いで第4位であることなど、市原市のものづくりの実力が紹介され、市原市の企業で作られたものが身の回りにたくさんあることなど、受講者は興味深げに聞き入っていた。「小学生の皆さんには、身の回りにあるものは元素でできて

て、将来役立つ元素を知っているのかな？と思ったてほしいです。そして体験が何より大事なので体験型のフェスタや科学館などにぜひ、行ってください」と室谷さん。金属探知機の作り方を指導する木更津高専電気電子工学科の大澤寛教授は、「ものづくりを通して不思議だな？何が起きるか、スタッフと共に「完成したペットボトルを持

ち上げた時の、子どもの顔を見るのが楽しみです。市原市の子どもたちに製造の分野に興味・関心を持ってもらえたら嬉しいです」と話し、マイペットボトルを作らせてくれた。大人（保護者）ももちろん保護者の参観も歓迎です。「大人にとっても興味深い内容で、親子で一緒に楽しめた」といった声も聞かれています」とのこと。お話しと木更津高専ロボット機を除き、いちはらポイント対象事業にもなっている。ものづくりに関心のある小学生と保護者の皆さん、次回をお見逃し無く。(山崎)



マイペットボトルを作った小学生とテナカのスタッフ

（調）経済部商工業振興課
☎0436・23・98006